

人、暮らし、景観でつながるプロジェクト

～たくさんの人に「選ばれる」南知多町の景観を発掘するワークショップ～

8月5日（土）、8月6日（日）の2日間にわたり、南知多町各地区に暮らす人が景観に関して興味・関心を抱くよう「育み」、景観への視点を持った「ひとづくり」の第一歩とすることを目的に「人、暮らし、景観でつながるプロジェクト」を開催しました。

身近な景観のよさに気づき、どうして好きなのか言語化するため、参加者には事前に地域のお気に入りの景観の写真を撮影していただきました。

当日は、南知多町の「景観」の多様性に気づき、「景観」と地形、暮らし、営みとのつながりについての理解を深めるため、「景観」についてのレクチャーを実施しました。

ワークショップでは、レクチャーで身に着けた知識をもとに参加者各々でお気に入りの景観について個人ワークシートを作成しました。

各々のワークシートをもとにグループごとに「地区で大切にしたい景観の視点」や「守りたい景観構成要素」等の意見交流を行い、グループ発表を行いました。

〈プログラム〉

1. あいさつ・趣旨説明
2. レクチャー
3. 個人ワーク
4. グループディスカッション
5. 発表
6. 景観特派員のお誘い・景観計画策定に向けた説明

○ワークショップの会場・日時・参加人数

	半島会場	篠島会場	日間賀島会場
開催日時	8月5日(土) 13:30-15:30	8月6日(日) 13:30-15:30	8月6日(日) 19:00-21:00
開催場所	町公民館内海分館 (内海サービスセンター) 2階 集会室	篠島開発総合センター 2階 集会室	日間賀島公民館 3階 集会室
参加人数	22名(うち、中学生5名)	17名	17名(うち、中学生9名)



半島会場



主な意見

特に大切にしたい地域の景観

- 人の営み、情緒、やすらぎを感じる景観
- 人によりそう海
- 美しい砂浜と海に沈む夕陽
- 街並みの連続性
- 海が見える景観
- 学生の居場所

景観を通じて感じるもの

歴史性：なつかしさ、今と昔、ノスタルジックさ、先祖代々人の手が入っている、地域の歴史、開拓

人との関係性：きずな、あたたかい人、助け合いの関係、おもてなし

生活感：暮らす人、農耕、商業、漁業、生業の蓄積、先人たちの努力

その他：神聖的、幻想的、癒し

景観を構成する要素

見えるもの：まち、島、寺社・仏閣、展望台、学校（南知多中学校）、空き屋、街道、路地、航路、里山、竹林、海、空、砂浜、小川、海のいきもの

見えないもの：歴史、おへんろ、移動、交易、信仰



篠島会場

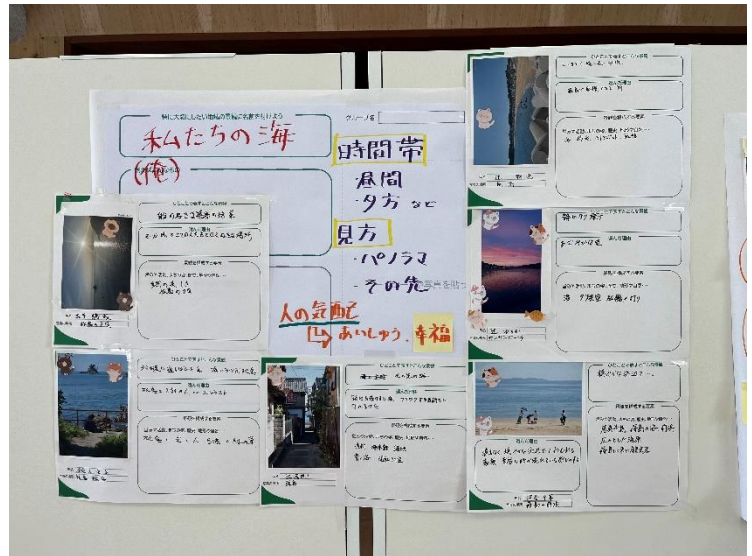
主な意見

特に大切にしたい地域の景観

- 私たちの海
- 信仰の対象としての海
- 神様が通る道
- 色んな顔の松島

景観を構成する要素

海、砂浜、舟、島、松島、篠島、漁村、夕陽、カラフルな家、道、路地、肥料のにおい、祭り、盆踊り、魔除け、人の気配、哀愁、幸福、テトラポット、旅館の燈、展望台



日間賀島会場

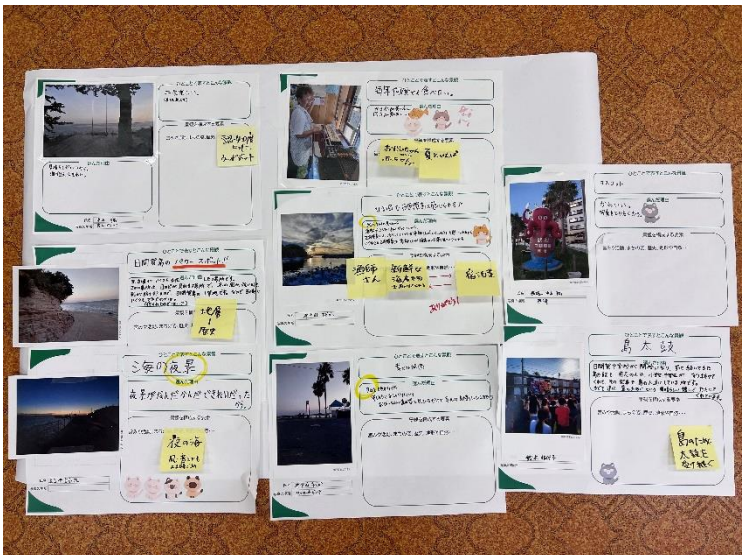
主な意見

特に大切にしたい地域の景観

- 故郷（ふるさと）の景観
- 子どものころ教室から見た景色
- 南知多にしかないもの
- 雨の日にしかみれない風景
- テンションがあがる風景

景観を構成する要素

人、まち、海、夜の海、島、漁港、漁師、祭り、祇園の花火、島太鼓、海に沈む夕陽、レトロなお店、ウッドデッキ、地層、歴史、団子屋、宿泊業、伝統、あじさい、ブランコ、自然、夜光虫



景観特派員の募集

- ・地区の景観について写真撮影・簡単なレポート記事を作成し、南知多町の「景観」を発信する、「景観特派員」を募集しました。



景観特派員募集中

#minamichita_keikan

南知多には、海辺、緑、まちなど、魅力的な景観があります
心惹かれる街角、美しい風景などを
写真に撮って、発信する仲間を募集中です

#ハレの日 #待ちに待った祭り
#minamichita_keikan



#砂浜 #自慢の海
#minamichita_keikan



#涼しげな水路
#minamichita_keikan



やり方

どんな点に心が惹かれたのかを添えて、
事務局公式 LINE アカウントまで
写真をお送りください。

南知多町 景観特派員 事務局
公式 LINE アカウント



例)みなみちた景観特派員レポート#1

潮風感じる洋風建築

潮風感じられる斜面地の路地に少し異質な洋風建築が佇んでいます。

和洋折衷のデザインが集落の街並みにあっており、ライトブルーの差し色が南知多の海を思い起こさせます。



特派員Aさん